

日野市公共施設包括管理業務委託の導入に向けた サウンディング型市場調査（補足資料）

■業務概要

1. 対象施設 145施設
2. 予算規模 約3.1億円/年(保守管理業務等)
その他修繕費約1.3億円(対象施設における令和2年度～
4年度の修繕費の平均金額・1件50万円未満の修繕業務)
3. 対象業務 279業務(令和4年度委託業務より算出)
4. 契約期間 5年間を想定
5. 事業開始 令和8年4月1日を予定

対象施設と対象業務について

以下の施設及び業務については、包括施設管理業務委託の導入メリットが見いだせないため、第1期の包括施設管理業務委託から除外する。

1. 指定管理者がすでに施設管理を行っている施設
(市民会館、ふれあいホール、地区センターなど)
※ただし、建築基準法に基づく特殊建築設備点検業務は除く。
2. 施設管理水準がすでに確保されている施設 (クリーンセンター)
3. 市が管理・運営を行っていない施設 (シルバー人材センター事務所など)
4. 将来の管理方法が未定の施設 (市営火葬場など)
5. 施設管理業務委託が行われていない施設 (消防団詰所器具置場など)
6. 除却予定がある施設 (旧社会教育センター・市営住宅の一部など)
7. 受付管理業務 (シルバー人材センター・社会福祉法人・NPO・地域団体への委託業務など)
8. 清掃業務等の一部 (障がい者団体に委託している業務など)
9. 民間施設の貸借上、随意契約せざるを得ない業務 (七生支所)
10. 施設管理以外の業務 (物品管理・物品修繕など)
11. 施設の構造上、分離できない業務
(市民会館と一体となった本庁舎の受電設備に関する業務の一部など)

修繕業務（50万円未満/件） について

	小規模修繕 ※		修 繕 ※		合 計	
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
令和2年度	1 6 0	3 6 , 3 3 8	8 4 2	9 3 , 7 4 6	1 0 0 2	1 3 0 , 0 8 4
令和3年度	2 2 5	5 2 , 1 8 3	7 3 8	9 4 , 8 6 6	9 6 3	1 4 7 , 0 4 9
令和4年度	1 5 8	3 8 , 5 0 9	7 1 2	1 0 1 , 4 2 5	8 7 0	1 3 9 , 9 3 4
平 均					9 4 5	1 3 9 , 0 2 2

※小規模修繕（日野市公共施設小規模修繕事業）とは



※修繕とは



● 日野市公共施設小規模修繕事業について

- 厳しい経営環境にある小規模事業者を育成するため、平成16年度から実施。
- 市は日野市商工会と契約締結し、市発注の公共施設の小規模修繕（50万円以内）を一括して委託契約。
- 商工会は市の発注により、登録した協力員に順番で原則見積り合わせにより発注。
- 平成16年10月に参加企業を募集し、建築・塗装・左官・空調・造園など協力員約70社が加盟。

※協力員登録資格

- ・ 市内事業所において1年以上の常時従事者が従業員を含めて4人以下の事業者。
- ・ 市競争入札参加資格登録をしていない、または、登録したが前年度に受注実績がない事業者。

※過去3か年の実績

- ・ 令和2年度：修繕費48,000千円、事務費1,000千円、受注数201件（うち包括対象施設では160件、36,338千円）
- ・ 令和3年度：修繕費65,000千円、事務費1,000千円、受注数274件（うち包括対象施設では225件、52,183千円）
- ・ 令和4年度：修繕費49,000千円、事務費1,000千円、受注数204件（うち包括対象施設では158件、38,509千円）

導入効果のイメージ

現在

《事業費》 538,776千円		
【施設の保守管理業務】 313,308千円	【施設の修繕業務】 139,022千円	【職員人件費】 86,446千円

導入後

【施設の保守管理業務】	【施設の修繕業務】	マネジメント経費	職員人件費	コスト削減効果
-------------	-----------	----------	-------	---------

維持管理水準の向上